

# 森と緑の会だより 2009秋号

**県内初、公益社団法人へ移行しました。**  
**公益社団法人高知県森と緑の会として、より一層**  
**高知の森や緑のために活動を展開していきます。**



理事長 川合 通子

平成21年7月31日、新生「公益社団法人高知県森と緑の会」が発足しました。平成8年3月29日に設立された社団法人高知県森と緑の会は、この日から公益社団法人として新たなスタートを切ることになりました。

当会は、設立以来、高知県で唯一「緑の募金」を取り扱うことができる団体として、知事から指定を受け、「緑の募金による森林の整備等の推進に関する法律」にしたがって、県内の森林の整備や緑化の推進等を通じて、県民の

みなさまの緑の大切さへのご理解と緑の募金へのご協力につなげて参りました。

緑の募金は、このところの不景気等により減っていますが、公益社団法人は、特定公益増進法人として取り扱われ、税の寄附優遇の対象となりますので、これからもみなさまのあたたかいご協力をよろしくお願い申し上げます。

8月19日(水)・20日(木)、第4回目となる緑の少年団交流行事を1泊2日で開催しました。**徳島一高知緑の少年団交流会2009 in 嶺北**



今年は、徳島県から川田小学校と宍喰小学校緑の少年隊14名、高知県からは本山町と土佐町の子ども会連合会緑の少年団から13名が参加しました。

吉野川の支流・汗見川の上流の山に苗木を植えたのは平成18年のこと。苗木の中には、丸3年間で子ども達の背丈に近いほど育っているものもありました。木を育てることの大変さが分かる暑い中の草刈り、森の育む美しい汗見川での川遊び、地元の方々とのふれあいや里の体験をとおして、両県の交流が深まりました。（次頁へ）

## 「高知銀行」創立80周年記念行事。 328万円余を「緑の募金」に。

地球緑化応援定期「みんなのちから」で郷土の緑化を。

株式会社高知銀行様から緑の募金として3,284,343円寄附いただきました。この募金は、郷土・高知県の緑化に役立ててほしいと、定期預金「みんなのちから」の0.01%にあたる金額を高知銀行様が負担し、緑の募金に寄附してくださったものです。

平成21年8月4日、四国森林管理局長室にて、高知銀行頭取伊野部様から川合理事長が目録をいただきました。理事長が感謝の気持ちを伝え、続いて四国森林管理局篠田局長から「林野庁感謝状」の贈呈が行われました。

当日は、高知銀行から伊野部頭取、森下専務、田中営業統括部長等5名の方、当会から理事長、副理事長、専務理事、高知県の林業振興・環境部安岡副部長、林業環境政策課も同席いただきました。贈呈式の後は、今回の取り組みのお話を聞かせていただく等歓談しました。



▲頭取伊野部様から目録をいただく川合理事長



林野庁感謝状を手にされた  
頭取を囲む。  
左から、四国森林管理局篠田局長、  
高知銀行伊野部頭取、当会川合理事長、  
高知県林業振興・環境部安岡副部長、  
林業環境政策課



1日目の開会式、お互い初対面でまだ固い表情です。つづいて、暑い日差しの照りつける中の草刈り。そして、汗見川の清流で水に親しみ、アメゴつかみに挑戦しました。次は、翌日のそばうち体験でつくったそばを食べるための竹の箸と器づくりをし、夕食のバーベキューでたくさん話してお腹もいっぱいに…。2日目は、朝から汗見川で地元川村さんから川の話を聞き、水切り体験をした後、地元のおばちゃん達に習いながらそばうちをして、そのそばを自作の器で食べました。最後に、早明浦ダムで話を聞き、ダムの見学をして閉会式、短い時間でしたが交流が深りました。

(前頁から)徳島県で4割の水が利用されている早明浦ダムが高知県の嶺北にあり、その水を育む森を育てること、またその上流の水に親しむことで森と川のつながりやその大切さを、両県の子ども達が共に体験をとおして学びました。

主催:(社)としま森とみどりの会・(公社)高知県森と緑の会、共催:汗見川活性化委員会・本山村、後援:高知県・徳島県・土佐町・大川村・大豊町・いの町、協力:(独)水資源機構早明浦ダム出張所、たくさんの協力のおかげで終了することができました、ありがとうございました。この事業は、「緑の募金」を活用しています。

**秋の緑の募金に  
ご協力お願いします**

イベント案内 10月10(土)・11(日)・12(月・祝日) 都市緑化祭 2009

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」をテーマに、高知市中央公園にて開催します。苗木・花鉢・木工製品が市価より安くお買い求めできます。

体験コーナーとして、竹とんぼや森の万華鏡、糸鋸体験「動物切り抜き」、木の玉プール等を設けます。また、緑の募金街頭活動や、木のおもちゃやパネル等普及展示もあります。(主催:高知市・(財)高知市都市整備公社・グループみどり会・当会)

11日午後1時半からはよさこい鳴子踊り。今年もよさこい祭り受賞チームとなった3チームが登場!高知のよさこい大好きさん達が、郷土の緑環境のために!と、ボランティア出演してくれます。「上町よさこい鳴子連」「桜(高知中央高等学校)」「サボタージュ」のみなさんです。ぜひおいでください。



昨年のようす

# 平成21年度「 緑の募金公募事業」活動報告

緑化の推進 No.5 高知県林業改良普及協会

夏休み。親子で学習、森のしごとや植物。

## 「森の仕事発見学習」

森の仕事発見学習として、香美市土佐山田町穴内で、穴内ダムや林業地を見ながら、溝渕林業株式会社・溝渕会長さんから水を育む森の機能や森を育てる話を聞きました。プロセッサー(林業大型機械)が、目の前で木を切り倒して手早く玉切りする作業の迫力には圧倒されました。また、県立甫喜ヶ峰森林公園で、鴻上さんから公園内の樹木や植物を押し花にする方法や名前について学びました。



## 「森の体験情報がつまつたサイトです。

森の達人や体験情報を掲載したサイトが開設されます。その名も、「こうち森のささやき」。森の文化・自然体験メニューを紹介する窓口サイトです。

サイト名の由来は、大切な情報だからあなたにだけそっと教える、森からのささやき。そんな高知の森の情報を発信していきます。ささやきのブログもあります。みなさまからの情報もお待ちしていますので、よろしくお願いします。



津野町の森林セラピーロード

「こうち森のささやき」、9月中旬、オープン！

夏に行われた3つの団体の取り組みをご紹介します。

緑化の推進 No.12 母なる大地四万十の郷 水と森を考える会

## 親子でいっぱい木にふれあおう。 「森と水のふれあい教室」

木の良さや森林の持つ重要な役割を知ってほしいと、木とふれあう親子木工教室を7月25日、窪川町森林組合にて開催。たくさんの親子が協力して作品を仕上げました。



森林の整備 No.6 四万十樵塾

四万十川流域の森を間伐して豊かな森に。

## 「四万十流域間伐推進事業」

四万十樵塾は、四万十町(旧大正町)市ノ又で、四万十森林管理署と協定を結んだ「市ノ又ふれあいの森(21.85ha)」で間伐を進めています。年間を通じて定期的に作業を実施。9月は5日に、暑い中の間伐に汗を流しました。



## みんなでどんどん参加しよう！ 楽しい山の日企画、つぎつぎ開催

前号でもご紹介しましたが、24の魅力的な山の日企画イベントは、9月以降も各地で実施されますので、ぜひ参加してください。詳しくは当会のHPで。下の写真は既に実施されたものの紹介です。

### 山で体験・木に親しむ・イベント



左：「間伐丸太」引き競走や白髪ヒノキ天然林の見学(十津小学校区青少年育成協議会)。右：むかしむかしの住居づくりや間伐材の筏乗りにも挑戦(立川体験交流の会)

### 山-川-海のつながり・体験＆学習



「山-川-海のつながり」を知る取り組み。左：地引網体験(物部川流域ふるさと交流推進協議会)。右：海岸の観察とウミガメの話((社)西土佐環境・文化センター 四万十楽舎)。

## 学校林・遊々の森 全国子どもサミット開催

8月2日から1泊2日で、「『学校林・遊々の森』全国子どもサミットin四国」が香美市の県立香北青少年の家等で開催されました。現在、全国で約3千校にある学校林・遊々の森の3割程度しか実際に活用されておらず、この活動の取り組みを広げることを目的として行われました。高知県からの香美市立大板小学校と黒潮町立南郷小学校を含め、四国から9校と招待校である兵庫県と石川県の2校が参加しました。

1日目に各校が取り組んでいる活動が元気に発表されました。



## 三嶺のシカ被害状況公開報告会(2)

7月4日、四国森林管理局で「三嶺の森をまもるみんなの会」が三嶺・剣山地区のシカ被害報告会を開催しました。6者からの報告を、70名を超える参加者が熱心に聞きました。



### TOPICS

#### ■『三嶺の森』の防護柵設置をご協力を！

10月4日(日)、三嶺系白髪山稜線部等で実施。詳しくは「三嶺の森をまもるみんなの会」HPへ。<http://sanreiminnanokai.web.fc2.com/index.html>

## 日常の暮らしの中から森づくり

### ■ NCB緑の募金カード

環境貢献型カード。これでふつうにお買い物するだけで緑に。入会金・年会費無料。

### ■ ほっと一息！森づくり！ ～「緑の募金」自動販売機～

同じ飲むなら「緑の募金」自動販売機。対象販売機には、緑の募金の標示がされています。協力企業は下記の3社です。

- ・ダイドードリンコ
- ・四国キヤンティーン(コカ・コーラ系列)
- ・岸田サービス(サントリー・アヒ・ボッカ・大穂製菓・ニッスル)

### ■ ハーティカードで森づくり！

たまたまポイントで気軽にご寄付。サニーマート全店舗設置のハーティポイント交換機で、「緑の募金」ボタンをチョイス！

## 子ども達を自然へ！「森のようちえん」

### 小さな時の自然の中での体験が大切だから…。

前号で紹介したように、当会では森のようちえんを推進するための取り組みを始めました。今回、高知県教育委員会生涯学習課の「平成21年度高知県体験活動事業」に事業計画が採択され、今年度実施していくことになりました。9月3日(木)、専任の保育士(1名)の人物費を町が負担する等既に町をあげた取り組みとして、先進的に運営している鳥取県智頭町の「森のようちえん まるたんぼう」を視察してきました。子ども達が自然の中で遊ぶのを極力手を出さずに見守ることで、子ども達が五感をフルに働かせて様々な体験をしていることが見えてきます。智頭町の副町長さんからも、積極的に支援しているとのお話を聞きました。



▲森や河原でただ遊ぶ、そこにはたくさんの学びや発見、冒險があります。

### TOPICS

■「森のようちえん」を高知県にひろげる取り組みを実施  
11月7日(土)、指導者講習会を高知市鏡吉原で開催。翌日の8日(日)には、フォーラムを計画しています。

## 巨樹・古木 No.10 「御田さん」のクスノキ (室戸市吉良川)

室戸市吉良川にある御田八幡宮の境内で、タブノキ(ドウネリ)と共に広く境内を覆い、老若男女の絶好の休息場として地域住民に安らぎを与えている。恒例の神事である秋の大祭“御田祭”には、地元若衆の担ぐ花代の提灯に照らし出される枝葉の重なりは幽玄の境をつくり、神社と共に地域住民の自慢である。

胸高直径160cm、樹高27m、樹齢推定500年。



森と緑の会の前身、「高知県緑化推進委員会」の時に県内各地の巨樹に看板が立てられました。10年以上経った今、再びそれらの木に会いに行って特集しています。

強秋10月  
化期月  
期「31日  
間の  
で募  
金」

ご協  
力をお  
願いし  
ます。

- ・緑の募金に関するお問い合わせ
- ・緑の募金事業に関するお問い合わせ

当会は特定公益増進法人に該当します

〔緑の募金〕に協力いただきますと、法人税法に基づく税の優遇措置があります。また、個人の場合も税金が控除されます。

公益社団法人 高知県森と緑の会

〒780-0870

高知市本町5丁目1番50号 中沢ビル4F

TEL:088-855-3905 FAX:088-855-3906

E-mail info@moritomidori.com

ホームページ <http://www.moritomidori.com/>

